

## 1. 各項目の特徴点、考察

Q 1. 「住みよい街か」の問いに対して、男女とも80%が「住みやすい」と答えた。

※逆に18%の男女が住みにくいと回答、合併後の山間部で生活面、公共交通など利便性が悪い面も出ている。

Q 2. 「その理由は」の問いに対して、男女とも「日常生活面での利便性」「公共交通網、道路網の利便性」が40%を占めた。

※これまでに作り上げた、大小のスーパーや百貨店、と豊田スタジアム、高速道路と多くのインターチェンジ、愛環、名鉄鉄道やバスなどではないかと考える。

Q 3. 「今後住みやすく、魅力ある街には、何が必要か」の問いに対して、男女とも30%が公共交通機関の整備、道路、歩道、自転車道、駐車場、駐輪場の整備が必要と答えた。

次に多いのが防犯対策。

※現在の情勢では、税収の伸びも期待できない中多くの税金を使い道路や箱ものの整備をすべて実施することは不可能であり、本当に必要なことを優先順位をつけて進めていくことだと思う。

今後は更に、政策推進議員と連携を強め、地協の声や地域の声、行政の考えなどを共有化し政策や施策に生かす活動が必要。

Q 4. 「絆を取り戻すために何をしたらいいのか」の問いに対して、「コミュニケーション」「地域の行事に参加する」との答えが多い。

※やるべきことは分かっている、その先が難しい具体的に何をやるのかでは、行政や自治体頼りの回答者も多い。

※個人を大切にしてきた事が、家族の絆や、地域の絆を弱くしている面もある。取りもどすためには、個人、組合、会社、行政など社会全体で考え良い方向に進むことが必要。

## 2. 地協の政策要望への反映課題

全世代が防犯を回答の判断にしている。自分たちでは出来ない事、警察や行政関係について反映課題とする。

特にこれまでの要望に対して、進んでない項目について継続して反映課題とする。

## 3. 連合愛知の要望書、行政への要請取り組みとしたい項目

(地協独自では達成が困難な項目など)

※市独自で出来ない県との連携が必要な、警察関係など取り組んでいただきたい。

## 4. その他(統一項目や他地協のアンケートと比較して気づいた点など)

豊田地協には、インターチェンジが8ヶ所や車の街豊田のためか、空き巣や車上荒しなどの犯罪が他地協より多い。